

木にこだわる建築家

31

鈴木 裕二氏

創建設計

木造建築CADの設計、プランニング、実施設計、申請業務などの意匠設計業務と木造（在来工法・2×4工法）の構造計算業務で急成長している創建設計（横浜市、鈴木裕二社長）。同社は、構造計算業務を生かし、今後のさらなる業務拡大に向け能力強化を図っている。同社は、特殊物件より一般住宅の受注が多く、構造計算業務など木材業界が抱える課題を日々解決している。

鈴木社長が構造計算から構造計算の依頼が増えるなかで、業務に取り組み始めた。自らの経験から、当社では意匠設計、構造設計すべてを一人の設計者で完結できる体制をとっている。構造計算を把握している。意匠設計の提案の幅も広がり、プランニングの自由度や可変性の幅も広がる。また設計全般のクレーンを減らすことももつながら」と語る。

意匠設計+構造計算で提案

リフォーム需要にも対応

鈴木社長は「自らの経験から、当社では意匠設計、構造設計すべてを一人の設計者で完結できる体制をとっている。構造計算を把握している。意匠設計の提案の幅も広がり、プランニングの自由度や可変性の幅も広がる。また設計全般のクレーンを減らすことももつながら」と語る。

「昔RC造、S造を手掛けた時と比べると、材料の制約幅や設計上の決まりごとが多いことに加え、木造の仕口加工や金物の種類も覚



同社の作業風景

れを解消す11人がおり、近年の長期優良住宅の構造計算も、今後適切な意匠設計、構造計算を行うていく方針だ」（同）と話す。

「大型木造建築が増加傾向のなか、適切な設計業務で設計業務で

「木造は心地良さが評価されていることあり、今後も必要となる業務だと認識している。現状、設計者にも木造に対する認識が甘

「木造は心地良さが評価されていることあり、今後も必要となる業務だと認識している。現状、設計者にも木造に対する認識が甘

鈴木 社長

「木造は心地良さが評価されていることあり、今後も必要となる業務だと認識している。現状、設計者にも木造に対する認識が甘

「木造は心地良さが評価されていることあり、今後も必要となる業務だと認識している。現状、設計者にも木造に対する認識が甘

「木造は心地良さが評価されていることあり、今後も必要となる業務だと認識している。現状、設計者にも木造に対する認識が甘

「木造は心地良さが評価されていることあり、今後も必要となる業務だと認識している。現状、設計者にも木造に対する認識が甘